

こうぎん為替参照ファンド2006-12  
 〈愛称〉 こうぎんオリジナルファンド  
 ビビッド3

最終期（償還日 2015年12月21日）

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信／海外／その他資産（通貨）／特殊型（条件付運用型）
信託期間	2006年12月22日から2015年12月21日まで（当初、2016年12月21日まで、早期償還条項付）
運用方針	<p>①主として償還条件および利払額が米ドル／円為替レートの水準により決定するユーロ円債に投資します。なお、ユーロ円債が早期償還条項に該当することとなった場合には、直後の計算期間末日において、当ファンドも早期償還されます。</p> <p>②原則としてユーロ円債を可能な限り高位に組み入れるものとし、組み入れたユーロ円債の銘柄入れ替えは行わないことを基本とします。</p>
主要投資対象	S G A ソシエテ ジェネラル アクセプトン ス N V発行のユーロ・ミディアム・ターム・ノート
主な組入制限	株式への投資割合は信託財産の純資産総額の10%以内とします。
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配可能額は、元本超過額または経費控除後の配当等収益のいずれか多い額とします。</p> <p>②分配金額は、委託会社が、信託設定当初に定める目標分配額を参考として、基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p>

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「こうぎん為替参照ファンド2006-12」は、信託約款の規定に基づき、2015年12月21日をもちまして早期償還いたしました。ここに謹んで設定以来の運用状況と償還の内容をご報告申し上げます。今後とも当社商品につき引き続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。



損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル



<http://www.sjnk-am.co.jp/>

お問い合わせ先



営業第二部 03-5290-3519

（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）

## ■当ファンドの特色

①為替（米ドル／円）に連動した分配金のお支払いを目指します。

1年目は1万口あたり約500円（税引前）の分配金のお支払いを目指します。

2年目以降は年1回設けられた評価日<sup>※1</sup>の米ドル／円為替レート<sup>※2</sup>（東京時間午前10時ロイターページJ P N U ミッドレート参照）に連動した分配金をお支払いすることを目指します。

尚、分配金は概ね以下の式に基づいて算出された金額になることを目指します。

$$100円 \times \{ \text{評価日為替} - (\text{当初為替}^{*3} - 15円) \}$$

\*分配金の表記はそれぞれ1万口あたり、税引前です。

\*分配金は1円単位で計算されます。

\*償還となる場合は、分配金としてではなく、償還価額に含めてお支払いされます。

（注）最低0円、最大500円になります。

②以下の条件が満たされた場合、早期償還（あるいは満期償還）となります。

この場合、元本の103.5%を確保することを目指します。

1年目の目標分配金500円と、2年目以降の評価日に「 $100円 \times \{ \text{評価日為替} - (\text{当初為替} - 15円) \}$ 」により計算される目標分配金の合計額が1,500円（ターゲット金額）に到達した場合、早期償還します。

③満期償還時には、円高に対するリスク軽減機能があります。

満期まで目標分配金累計額が1,500円に達しなかった場合、償還価額は米ドル／円為替レートに連動しますが、10円分の円高リスク軽減機能があります。

尚、1万口あたりの償還価額は概ね以下の式に基づいて算出されます。

$$10,000円 \times \{ \text{計算日為替}^{*4} \div (\text{当初為替} - 10円) \}$$

\*分配金が発生する場合は、左記金額に分配金を加えた金額が償還価額としてお支払いされます。

※1 評価日：初回評価日は設定日から約1年後になっており、以降1年ごとに評価日を設定しております。2006年11月2日現在では以下の予定となっております。なお、法令の変更等により休業日が変更された場合には、この限りではありません。

2007年12月7日 2008年12月8日 2009年12月7日 2010年12月7日 2011年12月7日

2012年12月7日 2013年12月9日 2014年12月8日 2015年12月7日

※2 米ドル／円為替レート：1米ドルあたりの円換算額。当ファンドでは、東京時間午前10時のロイターページJ P N U ミッドレート（小数点第3位以下四捨五入）を参照します。

※3 当初為替：ファンド設定日（2006年12月22日）の東京時間午前10時における米ドル／円為替レート（ロイターページJ P N U ミッドレート参照）

※4 計算日為替：計算日（2016年12月7日）の東京時間午前10時における米ドル／円為替レート（ロイターページJ P N U ミッドレート参照）

※上記の数式は、わかりやすくご理解いただく為のイメージであり、実際の分配金、償還価額は中途解約等による影響を受けることがあります。

## ■設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			騰落率	受利益回り	債券組入率	元残存本率
		税金	込金	期中騰落				
(設定日) 2006年12月22日	円 10,000	円 -	円 -	% -	% -	% -	% 100.0	
1期(2007年12月21日)	8,811	500	△ 689	△ 6.9	△ 6.9	99.9	100.0	
2期(2008年12月22日)	6,984	0	△ 1,827	△ 20.7	△ 12.5	99.8	99.7	
3期(2009年12月21日)	6,736	0	△ 248	△ 3.6	△ 9.2	99.7	93.9	
4期(2010年12月21日)	6,276	0	△ 460	△ 6.8	△ 8.1	99.5	87.1	
5期(2011年12月21日)	6,014	0	△ 262	△ 4.2	△ 7.0	99.4	75.5	
6期(2012年12月21日)	7,081	0	1,067	17.7	△ 4.0	99.3	58.6	
7期(2013年12月24日)	9,482	0	2,401	33.9	0.0	99.4	49.0	
8期(2014年12月22日)	11,746	500	2,764	29.1	3.4	99.3	25.7	
(償還日) 2015年12月21日	(償還価額) 10,937.24		△ 808	△ 6.9	2.2	-	14.9	

(注1) 基準価額の騰落額及び騰落率は分配金込み。

(注2) 基準価額及び分配金は1万円当たり(以下同じ)。

(注3) 受益者利回りは、基準価額(分配金込み)の当初元本(10,000円)に対する騰落率を年率換算したものです。

(注4) 当ファンドは、主として償還条件および利払額が米ドル/円為替レートの水準により決定するユーロ円債に投資するファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

## ■最終期の基準価額と市況等の推移

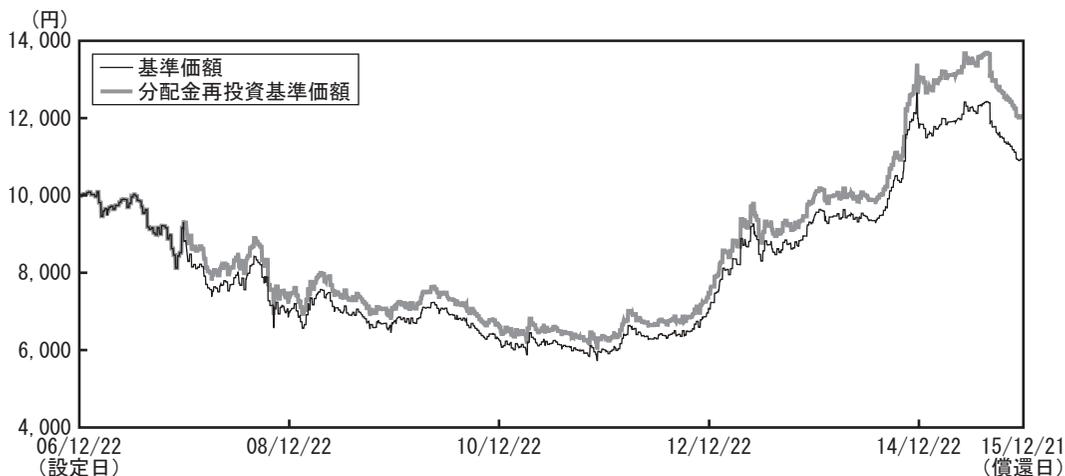
年月日	基準価額	騰落率		債券組入比率
		騰落	率	
(期首) 2014年12月22日	円 11,746		% -	% 99.3
12月末	11,841		0.8	99.3
2015年1月末	11,610		△ 1.2	99.3
2月末	11,738		△ 0.1	99.4
3月末	11,864		1.0	99.4
4月末	11,924		1.5	99.4
5月末	12,416		5.7	99.5
6月末	12,188		3.8	99.5
7月末	12,373		5.3	99.5
8月末	11,926		1.5	99.5
9月末	11,500		△ 2.1	99.5
10月末	11,326		△ 3.6	99.5
11月末	10,936		△ 6.9	99.5
(償還日) 2015年12月21日	(償還価額) 10,937.24		△ 6.9	-

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは、主として償還条件および利払額が米ドル/円為替レートの水準により決定するユーロ円債に投資するファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

設定以来の運用経過（2006年12月22日（設定日）～2015年12月21日（償還日））

■ 基準価額の推移



設定日：10,000円

償還日：10,937円24銭（期中分配金合計1,000円）

騰落率：20.5%（分配金再投資基準価額ベース）

- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・単位型投資信託は実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。
- ・当ファンドは、主として償還条件および利払額が米ドル/円為替レートの水準により決定するユーロ円債に投資するファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

■ 基準価額の主な変動要因

円安ドル高が進行した結果、当ファンドの分配金再投資基準価額は上昇しました。

## ■投資環境

設定から2011年にかけて円高が進行した後、2013年以降に急速に円安方向に振れる展開となりました。

2007年7月に米国の大手格付け会社がサブプライムローン（信用力の低い個人向け住宅融資）関連の証券化商品を格下げ方向で見直すことを発表したことから、信用収縮に対する警戒感が高まり、円が買われました。その後も、大手金融機関のサブプライムローン関連投資による損失拡大の発表、リーマン・ブラザーズの経営破たん、米国による大幅な利下げの実施などで、円高が加速しました。

2010年に入り、ギリシャを始めとするEU加盟国の財政悪化懸念などからリスク回避姿勢が高まり、さらに円は上昇しました。2011年10月末にかけては、欧州財政問題への懸念に加えて米国の追加金融緩和観測から円高が進行し、円は1ドル75円台となり、戦後最高値を更新しました。

衆議院解散・総選挙実施を経て2012年12月に安倍政権が発足し、アベノミクスを発表したことにより、日本銀行に対し追加金融緩和圧力が高まるとの観測から、円安ドル高に転じました。

2013年4月に日本銀行が異次元緩和を発表したことに加え、同年12月にはFOMC（米連邦公開市場委員会）が量的金融緩和政策の縮小を決定したことや、2014年10月に、日本銀行が予想外の追加金融緩和を決定したことなどから、更に円安が進行し償還を迎えました。

## ■当該投資信託のポートフォリオ

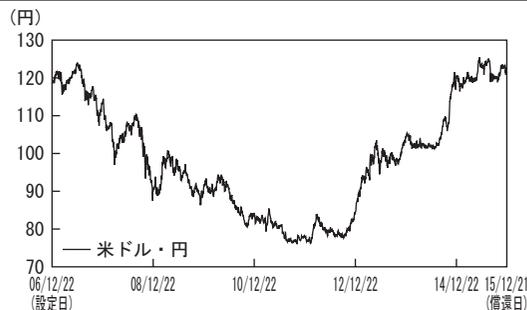
当ファンドは、ドル円レートの水準により分配額や償還条件が決定するユーロ円建債券（以下「ユーロ円債」）を主要投資対象とし、信託財産の安定的な収益を確保することを目的に、原則としてユーロ円債を可能な限り高位に組入れることを基本方針として運用いたしました。ユーロ円債は償還条件に抵触したため2015年12月14日に早期償還しました。

### <米ドル／円為替レート的水準>

当初為替レート的水準	2006年12月22日	118.38円
最終期の期中評価日の為替レート的水準	2015年12月7日	123.22円

(注) 当ファンドでは、米ドル／円為替レート（東京時間午前10時のロイターページJPNUミッドレート（小数点以下第3位を四捨五入））を参照します。

為替レートの推移



(出所：Bloomberg)

(注) 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

## ■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、主として償還条件および利払額が米ドル/円為替レートの水準により決定するユーロ円債に投資するファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

## ■分配金

収益分配金については、基準価額の水準等も勘案し、分配第1期は500円（1万口当たり、以下同じ。）、第2期～第7期は無分配、第8期は500円の分配を行いました。

### <早期償還条件の判定>

最終期の1万口当たりの目標分配金は500円となりました。そのため、第1期～第8期の分配金累計1,000円に最終期の目標分配金を加えた目標分配金累計額は1,500円となり、早期償還のターゲット金額である1,500円に到達したため、早期償還となりました。

### 分配実績（税引前）

第1期 07/12/21	第2期 08/12/22	第3期 09/12/21	第4期 10/12/21	第5期 11/12/21	第6期 12/12/21	第7期 13/12/24	第8期 14/12/22
500円	—	—	—	—	—	—	500円

### 最終期の目標分配金

最終期 15/12/21
500円

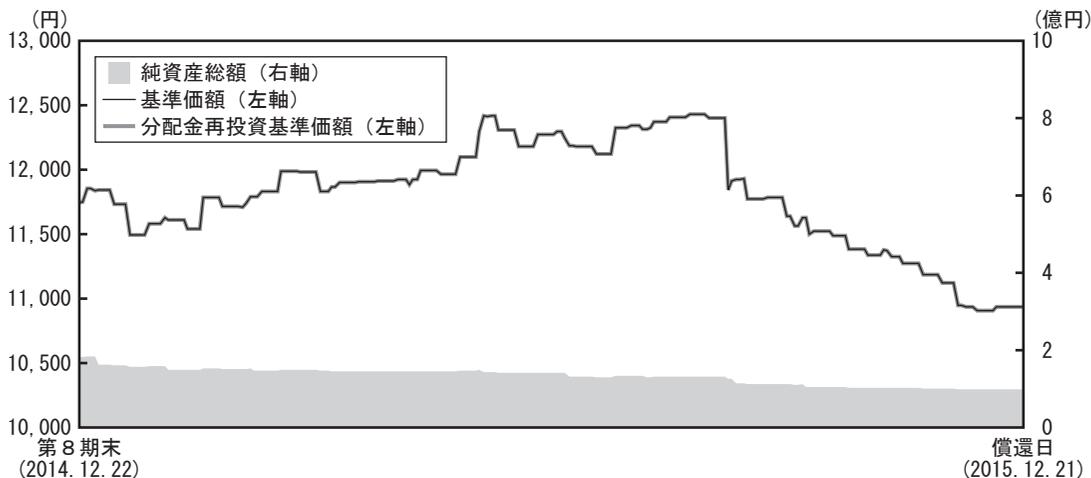
（注）最終期の分配金相当額は償還価額に含まれております。

### <償還価額の計算>

早期償還となったため、元本の103.5%を確保することを目指した結果、最終期の分配金相当額500円も含めた償還価額は10,937円24銭となりました。

## 最終期の運用経過（2014年12月23日～2015年12月21日（償還日））

### ■ 基準価額の推移



期首：11,746円

償還時：10,937円24銭（期中分配金合計一円）

騰落率：△6.9%（分配金再投資基準価額ベース）

- ・分配金再投資基準価額の推移は、2014年12月22日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客さまご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- ・単位型投資信託は実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。
- ・当ファンドは、主として償還条件および利払額が米ドル／円為替レートの水準により決定するユーロ円債に投資するファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

### ■ 基準価額の主な変動要因

早期償還となったため、元本の103.5%を確保することを目指した結果、当期の分配金相当額500円も含めた償還価額は10,937円24銭となりました。

円安ドル高がやや進行しましたが、期の後半にかけて早期償還の可能性が高まり、投資しているユーロ円債の価値が当初取り決めていた償還価格に近づいたため、基準価額は低下しました。

## ■投資環境

当期のドル円市場は、円安ドル高となりました。

期初から1ドル120円前後の比較的狭いレンジでの動きとなりましたが、5月後半に、イエレンFRB（米連邦準備理事会）議長が年内の利上げを示唆したことなどから、大幅に円安ドル高が進行しました。しかしその後、8月中旬に、中国景気の減速懸念の強まりや、原油価格の大幅下落などを契機とした世界同時株安を受けて、リスク回避の動きが強まったことから、円が大きく上昇しました。10月後半以降は、米国の年内利上げ観測が高まったことなどから再び円安ドル高が進行し、償還を迎えました。

## ■当該投資信託のポートフォリオ

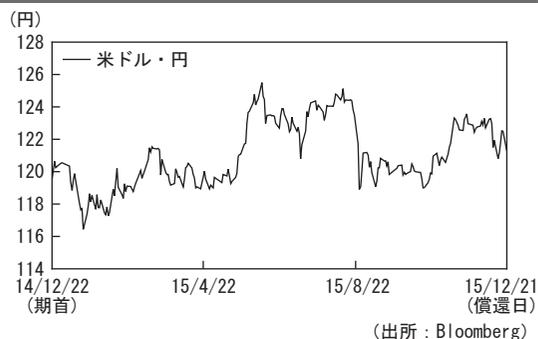
当ファンドは、ドル円レートの水準により分配額や償還条件が決定するユーロ円建債券（以下「ユーロ円債」）を主要投資対象とし、信託財産の安定的な収益を確保することを目的に、原則としてユーロ円債を可能な限り高位に組入れることを基本方針として運用いたしました。ユーロ円債は償還条件に抵触したため2015年12月14日に早期償還しました。

### <米ドル／円為替レート的水準>

当初為替レート的水準	2006年12月22日	118.38円
当期の期中評価日の為替レート的水準	2015年12月7日	123.22円

(注) 当ファンドでは、米ドル／円為替レート（東京時間午前10時のロイターページJPNUミッドレート（小数点以下第3位を四捨五入））を参照します。

為替レートの推移



(注) 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

## ■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、主として償還条件および利払額が米ドル/円為替レートの水準により決定するユーロ円債に投資するファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

## ■分配金

該当事項はありません。

### <早期償還条件の判定>

当期の期中評価日（2015年12月7日）において、米ドル/円為替レートは123.22円となり、概ね100円×{評価日為替－（当初為替－15円）}により算出される金額を目指す当期の目標分配金は500円となりました。当期の分配金相当額は償還価額に含まれております。

第1期～第8期の分配金累計1,000円に当期の目標分配金を加えた目標分配金累計額は1,500円となり、早期償還のターゲット金額である1,500円に到達したため、早期償還となりました。

### 分配実績（税引前）

第1期 07/12/21	第2期 08/12/22	第3期 09/12/21	第4期 10/12/21	第5期 11/12/21	第6期 12/12/21	第7期 13/12/24	第8期 14/12/22
500円	—	—	—	—	—	—	500円

### 最終期の目標分配金

最終期 15/12/21
500円

（注）最終期の分配金相当額は償還価額に含まれております。

### <償還価額の計算>

早期償還となったため、元本の103.5%を確保することを目指した結果、当期の分配金相当額500円も含めた償還価額は10,937円24銭となりました。

### <償還を迎えて>

当ファンドは、2015年12月21日をもちまして信託期間を終了し、早期償還とさせていただくこととなりました。受益者の皆様のご愛顧に心より御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

## ■ 1万口当たりの費用明細

項目	最終期		項目の概要
	(2014年12月23日～2015年12月21日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	32円	0.274%	(a) 信託報酬 = $\frac{\text{期末の支払信託報酬額}}{\text{期末の受益権口数}}$
(投信会社)	(16)	(0.137)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(11)	(0.091)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(5)	(0.046)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.010	(b) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(1)	(0.008)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	34	0.284	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額(11,803円)で除して100を乗じたものです。

■売買及び取引の状況

○公社債

(2014年12月23日から2015年12月21日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	社 債 券	—	77,258 (93,564)

- (注1) 金額は受渡代金(経過利子分は含まれておりません)。  
 (注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。  
 (注3) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。  
 (注4) 単位未满是切捨て。

■主要な売買銘柄

○公社債

(2014年12月23日から2015年12月21日まで)

最		終		期	
買		付		売	
付		金 額		付	
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
	—	千円 —	SGA Societe Generale Acceptance N.V. (2016/12/14)		千円 77,258

- (注1) 金額は受渡代金(経過利子分は含まれておりません)。  
 (注2) 単位未满是切捨て。

■利害関係人との取引状況(2014年12月23日から2015年12月21日まで)

当ファンドにおける当期中の利害関係人との取引はございません。

■組入資産の明細

最終期末(2015年12月21日現在)における当該事項はございません。

## ■投資信託財産の構成

(2015年12月21日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	99,165	100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	99,165	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■資産、負債、元本および償還価額の状況

(2015年12月21日現在)

項 目	償 還 時
a 資産	99,165,327円
コール・ローン等	99,165,300
未収利息	27
b 負債	292,641
未払信託報酬	292,641
c 純資産総額(a - b)	98,872,686
元本	90,400,000
償還差損益金	8,472,686
d 受益権総口数	90,400,000口
1万口当たり償還価額(c / d)	10,937円24銭

(注1) 2006年12月22日設定、設定当初元本額605,650,000円、当期首元本額155,700,000円、元本残存率(期末元本額の設定当初元本額に対する割合)14.9%

(注2) 償還時における1口当たりの純資産総額 1.093724円

## ■損益の状況

(2014年12月23日から2015年12月21日まで)

項 目	最 終 期
a 配当等収益	4,973,963円
受取利息	4,920,957
その他収益金	53,006
b 有価証券売買損益	15,169,390
売買益	15,169,390
c 有価証券評価差損益	△26,017,470
d 信託報酬等	△ 373,492
e 当期損益金(a + b + c + d)	△ 6,247,609
f 前期繰越損益金	27,180,925
g 解約差損益金	△12,460,630
h 合計(e + f + g)	8,472,686
償還差損益金(h)	8,472,686

(注1) 信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。

(注2) 解約差損益金とは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ■信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2006年12月22日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2015年12月21日		資産総額	99,165,327円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	292,641円
受益権口数	605,650,000口	90,400,000口	△515,250,000口	純資産総額	98,872,686円
				受益権口数	90,400,000口
元本額	605,650,000円	90,400,000円	△515,250,000円	1万口当たり償還金	10,937円24銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たりの分配金	
				金額	分配率
	円	円	円	円	%
第1期	605,650,000	533,664,471	8,811	500	5.00
第2期	603,650,000	421,569,945	6,984	0	—
第3期	568,650,000	383,037,367	6,736	0	—
第4期	527,300,000	330,910,009	6,276	0	—
第5期	457,250,000	274,990,907	6,014	0	—
第6期	354,900,000	251,302,938	7,081	0	—
第7期	296,900,000	281,517,607	9,482	0	—
第8期	155,700,000	182,880,925	11,746	500	5.00
信託期間中1万口当たり総収益金及び年平均収益率				総収益金	収益率
				1,937円24銭	2.2%

## ■償還金のお知らせ

1万口当たりの償還金（税引前）	10,937円24銭
-----------------	------------